

EP Multi Viewer Program

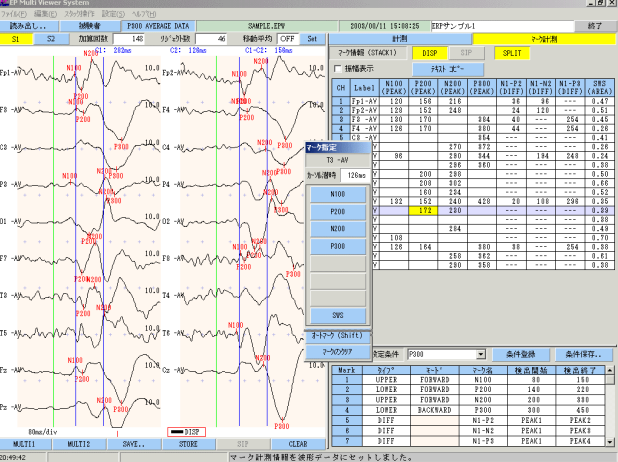


誘発マルチビューワープログラム(EP Multi Viewer System)は、パーソナルコンピュータ上で誘発波形データの波形を読み出し表示する基本プログラムです。読み出しファイルは、EP Multi で保存した EPW 形式ファイルの他に、テキスト型で保存されたデータを読み出して表示・計測することが可能です。複数の波形データを比較できるスタック表示機能や移動平均処理、カーソル計測が可能です。また、様々なオプションソフトをアドインできる機構を標準で用意していますので、オプションソフトウェアの組み込みによりいろいろな誘発波形処理のオフライン解析を可能にするプラットフォームプログラムとして利用できます。

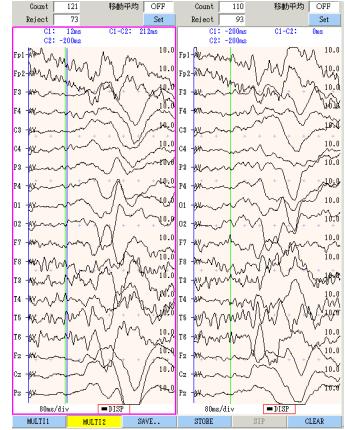
特徴

- 最大 64 チャンネルまでの表示が可能です。
- チャンネル単位で表示の ON/OFF 及び波形表示の大きさ変更が可能です。
- テキストデータを読み出して、波形表示が可能です。
- 任意のフォーマットで保存されているテキストデータであれば、読み出して表示が可能です。
- 最大 4 データの波形を同時に表示可能です (マルチ表示)
- 任意のスタックに波形データ読み出しが可能です。
- 波形を左右 2 列に並べて表示することが可能です (SPLIT 表示)
- スタック間での波形演算が簡単な操作で可能です。
- 他スタックへのコピー、加算、減算が可能です。
- 個々の波形表示位置をシフトさせて見やすい表示が可能です。
- 任意区間の平均をゼロレベル登録が可能です。
- 移動平均によるスムージングで波形にフィルタをかけることができます。
- スーパーインポーズ (SIP) 機能で波形の再現性を確認できます。
- カーソル計測で潜時や振幅、面積を計測できます。
- マーク計測機能でピークマークや面積を計測できます。
- 1 波形に対して最大 8 マークまで計測可能です。
- ピークマークのオート検出及びカーソルによるマーク位置修正が可能です。
- マーク情報を一覧で表示し、その結果をクリップボードにコピーできます。
- 波形印刷が可能です。
- 波形イメージをファイル形式でクリップボードにコピーして他のアプリケーションで利用できます。
- 表示波形のイメージを、後で拡大縮小が可能なファイル形式で他のアプリケーションにコピーできます。
- 波形データをテキスト形式で保存し、他のアプリケーションで利用できます。
- オプションでアドイン形式の解析機能を組み込み可能です。
- 操作ヘルプが充実しています。

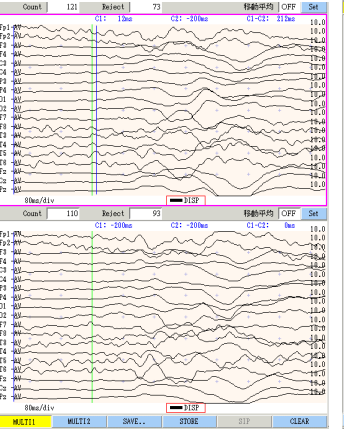
画面例



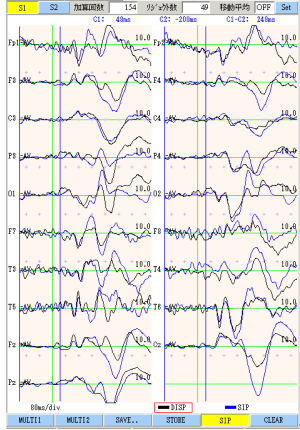
マルチ表示例 1



マルチ表示例 2



スーパーインポーズ表示



チャネル情報確認

		DISP		SIP		SPLIT	
CH	Signal	Label	Sense	LFF	HFF	Unit	Show
1	EEG	Fp1-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
2	EEG	Fp2-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
3	EEG	Fp3-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
4	EEG	Fp4-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
5	EEG	C3-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
6	EEG	C4-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
7	EEG	P3-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
8	EEG	P4-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
9	EEG	O1-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
10	EEG	O2-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
11	EEG	F7-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
12	EEG	F8-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
13	EEG	T3-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
14	EEG	T4-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
15	EEG	T5-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
16	EEG	T6-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
17	EEG	Fz-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
18	EEG	Cz-AV	10	OFF	OFF	ON	ON
19	EEG	Pz-AV	10	OFF	OFF	ON	ON

カーソル情報

		カーソル情報 (DISP STACK1)		チャネル情報	
CH	Label	C1 (Latency)	C2 (Latency)	C1-C2 (Latency)	Area (Positive)
1	Fp1-AV	1.52	-1.58	3.08	0.13
2	Fp2-AV	2.80	-2.82	5.22	0.08
3	Fp3-AV	-8.02	-0.46	5.56	0.41
4	Fp4-AV	-5.28	-0.12	5.14	0.21
5	C3-AV	-8.91	1.22	5.18	0.35
6	C4-AV	-9.52	0.24	4.58	0.24
7	P3-AV	-0.93	-0.08	0.91	0.16
8	P4-AV	-8.53	0.89	4.47	0.98
9	O1-AV	0.97	-1.82	2.79	0.17
10	O2-AV	1.85	-0.17	1.82	0.36
11	F7-AV	1.51	-2.43	4.00	0.25
12	F8-AV	2.72	1.81	1.12	0.00
13	T3-AV	4.24	-2.92	6.57	0.17
14	T4-AV	4.01	1.47	2.55	0.07
15	T5-AV	8.00	0.25	2.75	0.13
16	T6-AV	2.81	1.48	0.89	0.98
17	Fz-AV	-8.89	-0.24	6.15	0.26
18	Cz-AV	-10.21	1.82	12.08	0.61
19	Pz-AV	-8.02	1.21	6.23	0.87

仕様

- 読み出しファイルタイプ
 - 表示チャンネル数
 - 表示エリア変更
 - 波形表示
 - 移動平均処理
 - スタック間演算機能
 - カーソル計測機能
 - マーク計測機能
 - 波形印刷
 - ファイル保存
 - 波形イメージコピー
 - オプションアドイン機能
- EPW 形式ファイル、テキスト形式ファイル
64 チャンネル (任意チャンネルの表示 ON/OFF 可能)
波形表示エリアを横方向に変更可能
マルチ表示 (最大 4 スタック)、SPLIT 表示 (左右 2 列表示)
スーパーインポーズ表示、波形シフト機能、ゼロレベル登録可能
単純移動平均処理が可能
コピー、加算、減算、クリア
2 カーソルの振幅、振幅差、面積計測
カーソル計測値のクリップボードコピー
1 波形ごとに最大 8 マークまで計測
オートマーク機能、マニュアルマーク設定が可能
マーク計測値のクリップボードコピー、マーク計測条件保存を 16 パターン保存可能
EPW 形式で別ファイル保存、波形データをテキスト形式で保存可能
波形イメージをファイル形式でクリップボードへコピー可能
標準装備
- このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

- ペンティアムIII 800MHz 以上の DOS/V 機
- メモリ 512MB 以上 Windows7, Windows8 2GB 以上 空き HD 容量 5GB 以上
- XGA(1024×768) 以上の解像度
- 動作 OS Windows2000, Windows Xp, Windows7, Windows8 (すべて日本語環境)